



山口勝士議員
が町に問う！

認知症対策

**速やかな
施策の実施を**

答弁 正しい理解と共生
の実現を進めていきます

Q 「共生社会の実現を目指す認知症基本法」が成立した。この法律の意義は。

A 長生き支援課長 認知症の方の尊厳や、希望を持つて暮らすための施策の推進。さらに国民の責務として、認知症への正しい理解と共生社会実現に寄与すること等、基本理念・基本方針が示されました。

Q 国と地方がその理念に向かつて「一体になつて認知症への施策を講じていく」ことになる。法律が成立したばかりだが、高齢化率4割の当町には、速やかな施策の検討と実施が求められるが。

A 長生き支援課長 認知症施策大綱に基づき「第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」（令和3年4月～令和6年3月）でも施策を実施してきました。「第9期計画」



認知症を共に考える機会（令和5年度福祉会議）



島崎隆夫議員
が町に問う！

住民自治

**行政区長の
負担軽減は
解決に向けて取り組みます**

答弁 諸問題を共有し
解決に向けて取り組みます

Q 少子及び高齢化や、個人が尊重・優先される時代でもあり、行政区長の負担が増えたように感じる。負担軽減への取組は。

A 防災地域支援課長 区長会の研修会で行政区の抱える諸問題を提起し、共有を図りました。今後問題解決に向けて取り組んでいきます。

Q 活発な地域をつくることがよい町づくりにつながると考える。コミュニティに対する助成の現状は。

A 防災地域支援課長 行政区運営費交付金のほかに「コミュニティ施設等整備事業補助金」「いさいき地域活動補助金」があり、地域住民同士の交流に寄与するための事業をしています。

Q 小中学校の再編が令和12年に完了する。その後の土地や建物の



地域のにぎわい（昭和47年頃の下横田地区夏祭り）



田中立男議員
が町に問う！

広報おがわ

**かつての企画
復活を**

答弁 時々の状況や関心
度合いを踏まえていきます

Q 「広報おがわ」に、かつて企画された「史跡めぐり」や「和紙の話」の復活を。

A 総務課長 これまで「町史編さんだより」「史跡めぐり」「サークル紹介」などをシリーズで掲載し、今後も連載すべきものがあれば、適宜、掲載していきます。また「かつての企画の復活を」については、その時々状況や関心度合いなどを踏まえていきます。

今後も、読みやすい・わかりやすい「広報おがわ」を発行していきます。行政情報、観光や移住情報などの町の魅力を町内外に発信していきます。

非核平和都市宣言の町

Q 役場と駅前に「非核平和都市宣言の町」の懸垂幕の設置を。



平成元年の「広報おがわ」表紙



笠原英彦議員
が町に問う！

環境問題

**樹木等の繁茂への
対応は**

答弁 電話・訪問や郵送に
よる通知を実施しています

Q 当町に寄せられる苦情の中で一番多い「樹木や雑草の繁茂」についての対応や取組状況等は。

A 環境農林課長 環境保全条例の規定に基づき、職員が現地確認を行い、所有者を特定しています。電話や直接訪問、または管理リスクに関する国のリーフレットを同封した通知等を郵送し、改善に向けた対応を求めています。

Q ごみ減量化に努めていく必要があるのでは。

A 環境農林課長 「可燃ごみ」に含まれるリサイクル可能な雑紙などの分別の徹底や「生ごみの水切りダイエット」を奨めています。今後も広報誌やホームページ、さらには出前講座等で周知していきます。



一人一人の理解・実践がポイント

腰越公園の桜の花の下ではお弁当を開くなど憩いの場として和やかな風景が見られます。
(M・Yさん 72歳)

東中グラウンド南側の土手一面に咲くタンポポ。
(S・Nさん 30代)

役場の桜。昔、小川小だった時、入学式に満開になる桜と子供たちの姿を思い出します。
(M・Tさん 88歳)

高谷地内のワイナリー。鮮やかな紫色のラベンダーが風に揺れ、光り輝いています。
(Y・Yさん 60代)

松郷峠に向かう古寺入り口、まさに小川の桃源郷。何度も散策したくなる素晴らしい春の景色！
(Y・Sさん 60代)

青上・古寺地内で栽培される電照菊。お彼岸前の風物詩です。
(O・Kさん 74歳)